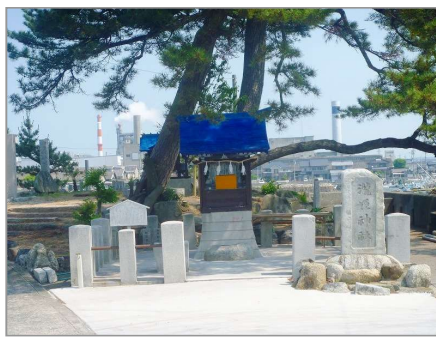




この天保山旧港の埠頭は、砂州の上に、海底の土砂をさらい積み上げた丘で、黒松を植えつけ、港の目標となっていた。
 ここは藩政時代には「御面雨乞い」の出発点であった。埠頭には、漁師の守護神として、南から瀧姫神社・厄除社・龍王社3社がある。



「おたた」の祖瀧姫を祀る瀧姫神社。行商の安全と繁栄祈願した。



厄除社



龍王社



「久方の天地とわにかぎりなき 義農様に
 そひぬ 大人がいさおし」 升田栄。



新立出身の実業者・西日本の再建王
 坪内寿夫翁頌徳碑。



「珍味発祥之地」の碑
 小魚珍味では80%のシェアの松前町。



「初凧や 龍神祀る 浜祠」 高市良史。



漁船が係留されている松前港。



天保山を桜の名所にしようと、老人会で
 桜の植樹が進められている。



「龍神社寄附者芳名」平成12年。



岸壁で手がとれなくなり、潮位が上がって
 溺れ死んだ子を供養した「辻松地藏」

天保山・瀧姫神社



松前港祭り 平成21年5月3日(日)